

第7回東京農工大学職員組合中央執行委員会議事要旨

日時：2012年4月18日（水） 18時～20時

場所：職員組合小金井事務室

出席：（敬称略）野見山敏雄、室尾和之、林谷秀樹、榎本弘行、佐々木信光、金子弥生、佐藤慶太、柳澤千秋、多羅尾光徳、平塚信子、吉田和佳奈

議題：

1. 議事要旨の承認

第6回東京農工大学職員組合中央執行委員会議事要旨について、承認された。

2. 報告事項

1) 4月20、21日に都大教の合宿学習会が東京大学本郷キャンパスにおいて開催される予定で、20日は多羅尾委員が、21日は佐藤委員が参加することが報告された。教員任期制や給与削減などが話し合われる予定である。

2) 農学部では4月12日までにすべての職場会が、また工学部では拡大支部執行委員会が開催されたことが報告された。

3. 審議事項

1) 今後の給与削減問題への対応

4月18日までの時点で、依然国家公務員給与削減法案に対する本学の対応が決まっていないとことが報告された。今後の対応については、前回の執行委員会と同様、当局の対応を待つこととするが、組合としては基本的には従来通り給与削減には反対していくこととし、これとは別途に、①地域手当の増額（15%）、②代休の実質化、③現業部門での特殊勤務手当の増額などを当局に今後要求していくこととした。

2) 各職場からの要求

農・工両学部の各職場から上がってきた要求に整理し、いくつかの項目については当局に質問ないしは要求していくこととした。

3) ハラスメント防止及び対策等の規定改正について

先の教授会で承認された「国立大学法人東京農工大学ハラスメントの防止及び対策等に関する規程の一部改正」について、榎本委員から改正になった箇所について疑義があるとの意見がだされ、検討した結果、当局に改正に至った経緯をまず確認し、場合によっては文言を改めることを要求していくこととした。

4) イスラム留学生名簿流出について

イスラム圏からの留学生の名簿が本学から外部に流出した問題について、組合からの問い合わせに対して当局からは名簿を外部に出したことはないとの回答を得たとの報告があった。この件について今後の対応を検討した結果、どのような形であれ情報が本学から流出したとの報道がなされ、本学の名前がマスコミで取りざたされているので、本学の名誉を守る意味でも当局として本問題に対する見解を公表するよう、組合としては当局に働きかけていくこととした。

5) メーデー前夜祭の準備について

4月26日18時から農学部で開催されるメーデー前夜祭について、前回の執行委員会で決まったように①農学部生協前でバーベキューを行う、②有志に楽器演奏を頼む、③準備は柳沢、金子、佐藤委員ならびに書記が行うことを再確認した。また、組合員への案内は、メールと配布物で再度行うこととした。

4 その他

次回中央執行委員会は、2012年5月23日（水）18:00から、職員組合府中事務室で行うこととした。